

カイロプラクター列伝

A black and white portrait of a young man with dark hair, smiling. He is wearing a light-colored shirt with a dark collar or trim. The photo is a head-and-shoulders shot against a plain background.

留学当時の保井D.C.

パーカー大学の入学に必要な化學や物理などの必須科目を取りました。

私の最初の留学先はサンフランシスコでした。半年ほど語学学校に通い、そこからアイオワ州のコミュニティーカレッジに入学して、英語と、

保井 志之 D.C.

(4) 英語のハンディーを抱えながらの留学生活

講師が話している内容がほとんど聞き取れません。講義を

そこからさらに大変な留学生生活が始まりました。最初の1～2年の基礎医学の履修が最も過酷な期間でした。学期中は毎週のように試験があり

でみつちり基礎医学教育を受けたことは、知識というよりも、厳しいカリキュラムを乗り越えてきたという意味で、後々の集中力や計画力において役立つているように思いました。

ろうか?」という不安な毎日
が続きました。唯一の頼りに
なったのが書き写した講義
ノートと教科書でした。辞書

朝から晩まで、いかにして睡眠時間を削って、勉強時間を確保するかを工夫していまし
た。

ニック・セミナーにも興味を注いでいました。ハードルを乗り越えるごとに私の英語力も徐々に上がってきていまし

を引きながら、内容を解説するかのように勉強をすすめて、なんとか単位を修得することができました。

そんな過酷なカリキュラムを乗り切ることができたのも、クラスメートのお蔭で、支えてくれた友人には、心から感謝しています。手技療法にこだわっての留学でしたが、こ

たので、少しずつではあります
したが、テクニックに関して
の議論も友人と交わすことが
できるようになつていまし
た。